

令和6年度 小ヶ倉中学校学力向上プラン

《学校教育目標》 心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成

《成果指標》 令和7年度 3年生 全国学力調査：国語 長崎県平均以上 数学 長崎県平均－3点以内
令和7年度 2年生 県学力調査：国語 長崎県平均以上 数学 長崎県平均以上

【家庭・地域との連携】

〈取組〉

- ⑥ ホームページ等を活用した開かれた学校づくり
- ⑥ 学力調査結果等の情報共有

〈成果（指標）〉

- ◆ 学校は、ホームページやテトル等でよく情報を発信している
(肯定的評価：95%以上)

【授業づくり】

〔基礎・基本の習得〕

〈取組〉

- ① 立腰教育の実施
- ② T Tや別室指導員を活用した個に応じた指導の充実

〈成果（指標）〉

- ◆ わかりやすく、ためになる授業づくりに努めている（肯定的評価：全学年90%以上）

〔思考力・判断力・表現力の育成〕

〈取組〉

- ③ 思考力・判断力・表現力を問う問題を扱う時間を計画的に位置付ける。

〈成果（指標）〉

- ◆ 学力調査の思考力・判断力・表現力の観点別正答率が県平均以上（全学年）

【教員の意識・指導力の向上】

〈取組〉

- ②③ あじさいスタンダード及び授業改善メソッドの活用

〈成果（指標）〉

- ◆ わかりやすく、ためになる授業づくりに努めている（教職員の肯定的評価：95%以上）

【学力基盤づくり】

〈取組〉

- ①④ フォーサイトアプリの活用したセルフマネジメントの場の設定
- ④ 生徒主体の自治的活動の場の設定(学活、総合、各種委員会、行事)
- ⑤ 図書委員会を中心とした読書の普及

〈成果（指標）〉

- ◆ 自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、計画的に取り組んでいる(肯定的評価：85%以上)
- ◆ 学校の授業以外で2時間以上学習している(肯定的評価：70%以上)
- ◆ 私は、読書に親しんでいる。（肯定的評価：70%以上）

【全国学力・学習状況調査、県学力調査から見た本校の実態】

国 語	・ 中2はすべての領域に課題がある。また、思考力・判断力・表現力の高まりが十分とはいえない。 ・ 中3は「話す・聞く」「読む」の2つの領域について課題がある。
数 学	・ 中2は図形領域を除く3つの領域に課題がある。 ・ 中3は思考力・判断力・表現力をさらに高めていく必要がある。
英 語	・ 「話すこと」「書くこと」の領域に課題がある。 ・ 1単位時間の活動で、話す活動が十分に設定できていない。
質問紙調査等	・ 学校外での学習時間が十分とはいえず、家庭学習の習慣が十分に身についていない。

授業づくりや学力向上の取組に関わる要因

- ① 基本的生活習慣及び学習規律の定着
- ② 基礎・基本の定着を図る場の設定が不十分
- ③ 思考力・判断力・表現力を問う問題を解決する場の設定が不十分
- ④ スモールステップでの成功体験の充実
- ⑤ 図書館教育の充実
- ⑥ 学校・保護者・地域の三者での育成する生徒像の共有